

中国におけるブラジャー装着に関わる母娘の意識

庄 莉 莉
(2023年10月6日受理)

The Awareness among Chinese Mothers and Daughters about Wearing Bras

Lili Zhuang

Abstract: Researchers from various nations have become increasingly interested in breast growth and bra-wearing as female puberty-timing advances and breast development ages continue to fall. To identify the issues related to underwear education in families, this study, which has a particular focus on China, examines the current state of breast development and bra-wearing among high school girls and their mothers and the correlation between mothers and daughters. The findings revealed that, while most women and girls in China are aware that wearing a bra properly can affect their physical development and health, their awareness of breast development and bra-wearing knowledge is insufficient, and the status quo of wearing bras is not ideal. Mothers play a crucial role in educating their daughters about bra-wearing in three respects: knowledge and understanding, present circumstances and behaviours and interest and desire to learn. However, the unsatisfactory state of educational outcomes in families on the issue of bra-wearing is often due to the mothers' insufficient knowledge and information, improper teaching techniques and a lack of communication with their daughters.

Key words: Awareness among mothers and daughters in China, bra, education about underwear

キーワード：中国における母娘の意識、ブラジャー、下着教育

1. はじめに

21世紀以降、多くの国で初潮年齢の低下傾向は徐々にみられなくなったが、乳房発達の起動年齢が著しく早まったという報告がみられ¹⁾、女子の乳房の発達状況に注目が集まった。女子の第二性徴発達に関する教育は、乳房の発達やブラジャー装着に関する内容を抜きにしては検討することができない。

日本では、思春期におけるブラジャー装着に関する教育の必要性が多くの教育研究者によって指摘さ

本論文は、課程博士候補論文を構成する論文の一部として、以下の審査委員により審査を受けた。

審査委員：鈴木明子（主任指導教員）、村上かおり、今川真治

れ²⁻⁴⁾、執筆者ら（2020）⁵⁾も、日本の女子高校生およびその母親のブラジャー装着に関わる母娘の意識や行動の関係性を検討した。オーストラリアのMcGheeら（2010）⁶⁾は乳房やブラジャーについての思春期向けのガイドブックを設計し、女子スポーツ選手を対象に配り、その教育の意義と有効性を検証した。また、イギリスのOmraniら（2019）⁷⁾は思春期における女子の乳房に関する意識や行動などを測定する尺度を作成し、それらを、乳房の健康を目指す教育研究の従事者に資料として提供した。

なお、中国では、教育部が2008年末に「*中小學健康教育指導綱要（指導要領）*」⁸⁾を公布し、思春期における心身の変化について小・中・高校を各段階に分けて学習目標と学習内容を明確に定めた。その中で、適切なブラジャーを選択し正しく着けることが中

学校段階の学習内容として示され、その学習の必要性が認められた。一方、馮秀娟ら(2016)⁹⁾の調査では、中国の小・中学生の半数以上が初潮または夢精の時に不安を感じていたことが指摘され、黄光梅ら(2016)¹⁰⁾の調査でも、第二次性徴期の身体の変化について理解していると回答した女子中学生は新入生のわずか35.0%にとどまったことが明らかになっている。さらに、中国の西南地域における女子大学生を対象にした調査(梁偉紅ら, 2013)¹¹⁾では、87.0%の女子大学生はブラジャーを着け始めるべき時期が分からず、74.5%はブラジャーの装着を恥ずかしい、不安だと思った経験があることが明らかになっている。これらの研究から、学校での女子の第二次性徴の発達やブラジャー装着については、望ましい教育成果が得られていないことが推察できる。

工藤ら(2002)¹²⁾は、母親のボディイメージなどの「健康の捉え方」が娘へと伝承されて獲得されることから、母親の意識や行動が思春期の娘の健康行動に大きく影響していることを究明した。また、劉録護(2013)¹³⁾によれば、女性の衣服着意識はライフステージにより変化し、常に母親からの影響を受けていることが明らかになっている。このように母親は娘の第二次性徴に関わる教育で重要な役割を担っており、特にブラジャー装着に関する指導では母親が欠かせない役割を果たしている。しかし、中国における多くの研究は主に初潮や性的知識に焦点を当てており¹⁴⁾、思春期における女子を対象とした乳房の発達やその変化に対応するブラジャーの装着についての調査研究はみられず、さらに家庭でのブラジャー装着に関する教育の実態や、母親のブラジャー装着に関わる意識が娘の意識にどのような影響を及ぼしているのかについて検討した研究もみられなかった。

そこで本研究では、中国の第二次性徴期における女子およびその母親の、乳房発達やブラジャー装着に対する意識や実態を、質問紙調査によって分析するとともに、ブラジャー装着に関わる母親の意識の関係を捉え、家庭でのブラジャー装着に関する教育の実態や課題を明らかにすることを目的とした。

2. 方法

1) 調査対象

調査対象は中国福建省泉州市の公立 Y 中等学校の高校部へ通う 1～3 年の女子生徒とその母親 300 組、母親合計 600 人であった。Y 中等学校は泉州市の郊外にあり、中、高一貫の中規模校である。

泉州市は中国福建省東南部にあり、福建省で最大の

885 万(2021 年)の常住人口を持ち、福建省の三大都市のひとつである。また、泉州市は福建省の経済の中心であり、産業構造は「ものづくり」の第二次産業を軸にし、靴、衣服、石材、磁器などの産地として有名で、2021 年まで 23 年間(1999 年～2021 年)に渡って GDP が福建省の第一位であった¹⁵⁾。

2) 調査期間および調査方法

調査期間は 2021 年 1 月であった。

調査用紙を対象校の校長に郵送し、授業外に担任教師から調査の主旨を説明し、母親のアンケート用紙を同封で配付し、自宅にもって帰らせて自宅で回答してもらい、母親分を同封で回収した。

3) 調査内容

調査項目および回答選択肢は、母親のブラジャー装着に関わる意識を「乳房の発達に関する内容」、「ブラジャー装着に関する内容」とそれらの「教育・学習に関する内容」の三つ内容枠から捉え、Table 1 に示したように、基本属性を問う 2 つの項目を除き、母親とも 15 項目を設定した。その中で、1～3, 5～6, 8～10, 12 の 9 項目の質問内容は母親で同一とし、4, 7, 11, 13 の 4 項目の内容は同一であるが、娘には自分自身のことを聞き、母親には娘のことを聞くものであった。調査内容の日本語訳は日本語能力試験 N1 に合格した筆者および他の中国人留学生 2 名が行い、家庭科教育を専門とする大学教員 2 名が確認を行った。

4) 分析方法

分析にあたり、三つの内容枠を、娘、母親別に、回答者の「知識・理解」、「実態・行動」、「関心・意欲」を問う枠組みに再構成し、観点別に分析を行った。Table 1 に示した各項目の回答選択肢ごとの回答率を算出し、娘と母親の「知識・理解」、「実態・行動」、「意欲・関心」の観点別の結果をそれぞれ Table 2～4 に示した。次に、ブラジャー装着に関わる母親の意識の関係を検討するため、Table 1 に示したとおり、評価点の最高得点を 10 点として選択肢ごとに得点を定め、母親で同一の項目については得点平均値のピアソン相関係数を求めた。また、娘の 3 観点の得点平均値の合計得点と、母親の知識・理解、実態・行動、関心・意欲の観点別の得点平均値の関係について、重回帰分析を行った。さらに母親それぞれを得点平均値の高低によってグループ分けして組み合わせ、「実態・行動」のうち「教育・学習に関する状況」に関わる項目に関して、群間の差について Kruskal-Wallis 検定を行うとともに、基本データを用いて、母親たちの娘へのブラジャー装着に関する教育の特徴を分析した。調査の集計および解析には Microsoft Excel (2016) を使用した。また、統計ソフト SPSS (IBM SPSS Statistics 29) を用いて

中国におけるブラジャー装着に関わる母娘の意識

Table1 調査内容の構成

調査内容	娘			母親		
	項目内容	選択肢	評価点	項目内容	選択肢	評価点
基本属性	属性 あなたは今、何歳ですか？ 次の中から一緒に住んでいる人をすべてあげてください。(複数回答)	(1) 15歳 (2) 16歳 (3) 17歳 (4) そのほか	/	属性 あなたは今、何歳ですか？ あなたの最終学歴は何ですか？	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代	/
		(1) 父 (2) 母 (3) そのほかの人 (4) 下宿・寮などで家族と離れて生活している			(1) 小卒 (2) 中卒 (3) 高卒 (4) 短大、専門学校卒 (5) 大学以上	
乳房の発達	知識・理解 1.乳房発達のstep1「初潮の1年以上前からバストが膨らみ始める」ことを知っていますか？ 2.乳房発達のstep2「初潮を迎える頃にはふくらみが横にひろがる」ことを知っていますか？ 3.乳房発達のstep3「初潮から3か月～1年頃には立体的に膨らむ」ことを知っていますか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない	10 5 0	知識・理解 1.乳房発達のstep1「初潮の1年以上前からバストが膨らみ始める」ことを知っていますか？ 2.乳房発達のstep2「初潮を迎える頃にはふくらみが横にひろがる」ことを知っていますか？ 3.乳房発達のstep3「初潮から3か月～1年頃には立体的に膨らむ」ことを知っていますか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない	10 5 0
		(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない	10 5 0		(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない	10 5 0
		(1) とても思う (2) 思う (3) あまり思わない (4) 思わない	10 6.7 3.3 0		(1) とても思う (2) 思う (3) あまり思わない (4) 思わない	10 6.7 3.3 0
		(1) 知っている (2) 知らない	10 0		(1) 知っている (2) 知らない	10 0
ブラジャー装着	知識・理解 4.どのような下着を着るかは健康に影響を及ぼすと思いますか？ 5.思春期の乳房は大人の乳房と違うので、成長期向けのブラジャーがあることを知っていますか？ 6.ブラジャーのサイズ表示のB75(例)は具体的に何のサイズを指すか分かりますか？	(1) よく分かる (2) 分かる (3) あまり分からない (4) 分からない	10 6.7 3.3 0	知識・理解 4.どのような下着を着るかは娘さんの健康に影響を及ぼすと思いますか？ 5.思春期の乳房は大人の乳房と違うので、成長期向けのブラジャーがあることを知っていますか？ 6.ブラジャーのサイズ表示のB75(例)は具体的に何のサイズを指すか分かりますか？	(1) よく分かる (2) 分かる (3) あまり分からない (4) 分からない	10 6.7 3.3 0
		(1) 衛生を保つ (2) プロポーションやボディを美しく整える (3) 体の保温 (4) スタイルを保つ (5) 運動をサポートする (6) 精神的に安心感を与える	-1.7 -1.7 -1.7 -1.7 -1.7 -1.7		(1) 衛生を保つ (2) プロポーションやボディを美しく整える (3) 体の保温 (4) スタイルを保つ (5) 運動をサポートする (6) 精神的に安心感を与える	-1.7 -1.7 -1.7 -1.7 -1.7 -1.7
		(1) 自分で行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0		(1) 自分で行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0
		(1) よく分かる (2) 分かる (3) あまり分からない (4) 分からない	10 6.7 3.3 0		(1) よく分かる (2) 分かる (3) あまり分からない (4) 分からない	10 6.7 3.3 0
乳房の発達	実態・行動 7.自分の乳房が膨らみ始めた時期はいつでしたか？ 8.自分のブラジャーのサイズが分かりますか？ 9.現在、ブラジャー購入時の試着や採寸状況はどうですか？ 10.ブラジャーの洗濯や干し方は正しい方法で行っていますか？	(1) 具体的時期 (2) 覚えていない/分からない	10 0	実態・行動 7.娘さんの乳房が膨らみ始めた時期はいつでしたか？ 8.ご自身のブラジャーのサイズを知っていたら教えてください。 9.あなたはブラジャー購入時に試着や採寸をしていますか？ 10.ご自身のブラジャーの洗濯や干し方は正しい方法で行っていますか？	(1) 具体的時期 (2) 覚えていない/分からない	10 0
		(1) 分かる (2) 分からない	10 0		(1) 分かる (2) 分からない	10 0
		(1) 採寸と試着どちらもした (2) 採寸だけした (3) 試着だけした (4) 両方しなかった	10 5 5 0		(1) 採寸と試着どちらもした (2) 採寸だけした (3) 試着だけした (4) 両方しなかった	10 5 5 0
		(1) よく行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0		(1) よく行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0
ブラジャー装着	実態・行動 11.月経や乳房の変化及びブラジャーについて身近な女性(お母さんなど)やその他の家族と話したことがありますか？ 12.学校で女性の体の変化に関する生理の知識を学んだことがありますか？	(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0	実態・行動 11.娘さんと月経、乳房の変化及びブラジャーについて話し合ったことがありますか？ 12.学校で娘さんにブラジャーの着用や選び方を教えてほしいですか？	(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0
		(1) よく行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0		(1) よく行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0
		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0
		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0
教育・学習	教育・学習 13.学校でブラジャーの着用や選び方を教えてほしいですか？	(1) 衛生を保つ (2) プロポーションやボディを美しく整える (3) 体の保温 (4) スタイルを保つ (5) 運動をサポートする (6) 精神的に安心感を与える	-1.7 -1.7 -1.7 -1.7 -1.7 -1.7	教育・学習 13.学校で娘さんにブラジャーの着用や選び方を教えてほしいですか？	(1) 衛生を保つ (2) プロポーションやボディを美しく整える (3) 体の保温 (4) スタイルを保つ (5) 運動をサポートする (6) 精神的に安心感を与える	-1.7 -1.7 -1.7 -1.7 -1.7 -1.7
		(1) 自分で行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0		(1) 自分で行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0
		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0
		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0
教育・学習	関心・意欲 12.乳房の変化とブラジャーについてもっと知りたいですか？ 13.学校で娘さんにブラジャーの着用や選び方を教えてほしいですか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない	10 5 0	関心・意欲 12.乳房の変化とブラジャーについてもっと知りたいですか？ 13.学校で娘さんにブラジャーの着用や選び方を教えてほしいですか？	(1) 知っている (2) 聞いたことがある (3) 知らない	10 5 0
		(1) 自分で行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0		(1) 自分で行っている (2) 行っている (3) あまり行っていない (4) 行っていない	10 6.7 3.3 0
		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0
		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0		(1) よくある (2) ある (3) あまりない (4) ない	10 6.7 3.3 0

母娘の質問内容が同一の項目
母娘の質問内容が同一であるが、聞き方が違う項目
母娘の質問内容が違う項目

分析し、考察した。なお、本研究は広島大学の研究倫理審査を受け承認された。

3. 結果および考察

調査用紙は母娘同封で234部を回収した（回収率78.0%）。その中で Table1の項目に全て回答した母娘152組を対象として分析した。有効回答率は65.0%であった。

(1) 調査対象の属性

女子高校生の娘の年齢構成については、15歳13.2%、16歳32.9%、17歳29.6%、18歳21.7%、19歳2.6%であった。母親については、40代が73.7%と最も多く、30代19.7%、50代5.3%であった。母親の最終学歴については、81.6%が中学校卒業、7.9%が高校卒業、合わせて89.5%で、そのほかは10.5%であった。中国の2020年の全国人口調査のデータによれば、全国において30代と40代の女性の最終学歴は、高校卒業以下（高校卒業も含む）が80.1%であることから¹⁶⁾、本調査の母親の最終学歴は全国のデータと近似していた。また、生活形態について、下宿・寮などで家族と離れて生活している娘が30.9%であった。

(2) ブラジャー装着に関わる娘と母親の意識

1) 知識・理解

①娘

知識・理解を問う項目として設定した項目1～6、14の各回答選択肢の回答率を Table2に示した。下着

が健康に影響を及ぼすこと（項目4）について、「とても思う」、「思う」と肯定した娘は99.3%であった。ほぼ全員が適切な下着を正しく身に着けることの大切さを認識しており、意識が高いと捉えることができる。一方、乳房発達のステップ1、2、3への理解（項目1～3）について、「知っている」、「聞いたことがある」と回答した娘はいずれも半数を超えたが、乳房の発達ステップ1を知らない娘（38.8%）のうち、96.6%はステップ2とステップ3についても知らないと回答した。即ち、30.0%を超える娘は高校生になっても乳房発達の順序やプロセスについて全く知らず、3人に1人は無知蒙昧である状態で第二性徴期の発達を迎えた実態が推察できた。また成長期向けのブラジャー（項目5）を知らない娘は41.4%であった。さらに、ブラジャーのサイズ表示（項目6）について、「あまり分からない」、「分からない」と回答した娘は合わせて71.7%であった。ブラジャーの役割（項目14）について、「プロポーションやボディを美しく整える」、「スタイルを保つ」というファンデーションとしての役割以外、「知らない」という回答はいずれも30.0%を超えた。多くの女子高校生のブラジャーの役割に対する理解は、スタイルの補正やスタイルを保つという限定的な役割にとどまり、ブラジャーの役割に対する理解が不足しており、一面的に捉えていることが明らかになった。

中国の第二性徴期における女子高校生の娘は下着の装着が健康と繋がっていることに気づいてはいる

Table2 知識・理解における母娘の項目回答率

	項目内容	選択肢	回答率(%)	
			娘	母親
知識・理解	1.乳房発達のstep1	(1) 知っている	61.2	67.8
		(2) 聞いたことがある		
		(3) 知らない	38.8	32.2
	2.乳房発達のstep2	(1) 知っている	53.3	68.4
		(2) 聞いたことがある		
		(3) 知らない	46.7	31.6
	3.乳房発達のstep3	(1) 知っている	51.3	65.8
		(2) 聞いたことがある		
		(3) 知らない	48.7	34.2
	4.下着が健康に影響を及ぼすこと	(1) とても思う	99.3	96.7
		(2) 思う		
		(3) あまり思わない	0.7	3.3
(4) 思わない				
5.成長期向けのブラジャー	(1) 知っている	58.6	69.1	
	(2) 知らない	41.4	30.9	
6.ブラジャーのサイズ表示	(1) よく分かる	28.3	72.4	
	(2) 分かる			
	(3) あまり分からない	71.7	27.6	
	(4) 分からない			
14 (娘) .ブラジャーの役割に対する理解の欠如	(1) 衛生を保つ	31.6	/	
	(2) プロポーションやボディを美しく整える	16.4		
	(3) 体の保温	34.2		
	(4) スタイルを保つ	19.7		
	(5) 運動をサポートする	34.9		
	(6) 精神的に安心感を与える	36.2		

#項目内容は略されたもので、詳しくはTable1の調査内容を参照

が、多くの女子高校生は乳房の発達についての基本的な知識をもっていなかった。また、成長期向けのブラジャーがあることを知らず、ブラジャー表示の具体的な意味や役割についての認識も不足しており、第二次性徴期に関わるブラジャー装着に関する知識・理解が低いと考えられる。

②母親

娘と同様に、ほとんどの母親（96.7%）もブラジャーを含む下着全般が娘の健康に影響を及ぼすことを認識していたが、乳房発達の3つのステップ（項目1～3）や成長期向けのブラジャー（項目5）があることについて、「知らない」と回答した母親はいずれも30.0%を超えた。また、30%近くの母親はブラジャーのサイズ表示（項目6）の具体的な意味が分からなかった。即ち3～4人のうち1人の母親は、乳房発達の知識、あるいはブラジャーに対する基本的認識が欠如している実態が明らかになった。すでに発達過程を経験し、ブラジャーを長年着けてきた女性として、乳房発達やブラジャーについての知識・理解が不足している実態は、

理想的とは言えない。

2) 実態・行動

①娘

実態・行動を問う項目として設定した項目7～10の回答選択肢の回答率をTable3に示した。自分の乳房が膨らみ始めた時期（項目7）について、「覚えていない/分からない」と回答をした娘は49.3%で半数に近かった。自分の乳房の膨らみ始めた時期を知らないことは、乳房発育の順序やプロセスについての知識の欠如に繋がり、これらの娘たちは無意識のままこの時期を迎えたと考えられる。またはこの時期の重要性をあまり意識しておらず、時間の経過とともに、記憶が薄らぐのではないとも思われる。項目8, 9により、ブラジャーを着けることに慣れ始める第二次性徴後期に至っても、74.3%の女子高校生は自分のブラジャーのサイズが分からず、しかも41.4%の娘は購入する際に試着も採寸も行っていない実態が分かった。サイズが分からないにしても、試着や採寸もしないまま適当にブラジャーを購入し、また、試着も採寸もしない故

Table3 実態・行動における母娘の項目回答率

	項目内容	選択肢	回答率(%)	
			娘	母親
実態・行動	7.乳房の膨らみ始めた時期	(1) 具体的時期	50.7	72.4
		(2) 覚えていない/分からない	49.3	27.6
	8.自分のブラジャーのサイズ	(1) 分かる	25.7	28.3
		(2) 分からない	74.3	71.7
	9.ブラジャー購入時の試着や採寸状況	(1) 採寸と試着どちらもした	58.6	86.8
		(2) 採寸だけした		
		(3) 試着だけした	41.4	13.2
		(4) 両方しなかった		
	10.ブラジャーの正しい洗濯方法や干し方	(1) よく行っている	69.1	84.2
		(2) 行っている		
		(3) あまり行っていない	30.9	15.7
		(4) 行っていない		
	11.月経や乳房の変化及びブラジャーについての相談頻度	(1) よくある	56.6	63.2
		(2) ある		
(3) あまりない		43.4	36.8	
(4) ない				
14 (母親).ブラジャーについて娘さんに教えたこと (複数回答)	(1) ブラジャーの役割やつける意義	/	50.0	
	(2) ブラジャーの洗濯方法とブラジャーの干し方		63.2	
	(3) ブラジャーの収納方法		32.9	
	(4) ブラジャーの取り扱い表示の見方		17.1	
	(5) 衛生的に毎日着替える		74.3	
	(6) ブラジャーの選びポイント		30.3	
	(7) すべて教えたことがない		0.7	
15 (娘) .学校で女性の体の変化に関する生理の知識を学んだこと	(1) よくある	63.1	/	
	(2) ある			
	(3) あまりない	36.9		
	(4) ない			
15 (母親) .自分がもっている知識、情報について	(1) 正しい知識をもっている	/	11.8	
	(2) どちらかといえば正しい知識をもっている		21.7	
	(3) どちらかといえば正しくない知識を持っているが不安		58.6	
	(4) 正しくない知識をもっているが不安		7.9	

※項目内容は略されたもので、詳しくはTable1の調査内容を参照

にサイズが分からないまま自分の身体に合わないブラジャーを買ってしまうという悪循環になっている傾向があると思われる。ブラジャーを正しい洗濯方法や干し方で行っているか(項目10)との問いに、肯定的な回答は70.0%近くに上った。多くの娘は自分のブラジャーの手入れ方法に自信をもっていることが示されたが、否定的な回答をした者も30.9%みられた。ブラジャーの手入れ方法に関する指導の普及が求められている。一方、月経や乳房の変化およびブラジャーについて身近な女性やその他の家族との相談の有無(項目11)について、否定的な回答が43.3%であった。即ち、高校に至っても半数近くの娘は月経や乳房の変化およびブラジャーについて身近な女性やその他の家族と相談しない、あるいは話しづらい状態であることが明らかになった。また、学校で女性の身体の変化に関する生理の知識を学んだことの有無(項目15)について、「あまりない」、「ない」と回答した娘は36.9%であった。中国の教育部は健康教育として思春期における心身の変化に関する小・中・高校の学習目標と学習内容を定めた⁹⁾が、まだ女子高校生3人のうち1人は女性の身体の変化に関してあまり学んだことがない、もしくは学んだことがない実態がみられた。彼女らはその学習が不足していることを認識していると考えられる。健康教育の実施状況が学校や学年によって異なり、教育成果の評価が難しい現状も示された。

以上のことから、中国の女子高校生の第二次性徴に関わるブラジャー装着に関する実態・行動もあまり望ましい状況ではないと思われる。

②母親

項目8～10の母親自身のブラジャー装着の実態・行動を問う3つの項目について、自分のブラジャーのサイズが分からない(項目8)母親は71.7%であった。また、80%以上の母親がブラジャーの購入時の試着と採寸(項目9)を両方、あるいはどちらかを行っていた。自分の乳房に合うブラジャーを選ぶために、購入する度に試着や採寸を行うことが提唱されており、この点からみると中国の母親は自分の体に合うブラジャーを購入していると考えられる。一方、自分のブラジャーのサイズを知らないために、購入時に必ず試着や採寸をしサイズを再確認しなければならないという実態もあるように思われる。項目10により、84.2%の母親は正しい方法で手入れしていると考えている実態がみられた。

また、娘との関わりやブラジャー装着に関する教育についての実態・行動を問う項目7, 11, 14～15をみると、娘の乳房の発達時期(項目7)について、「知らない/分からない」と回答した母親は27.6%であっ

た。多くの母親は娘の乳房の膨らみ始めた時期に関心をもって把握していたことが明らかになったが、約1/4の母親が娘のこの大切な時期に注視しなかったことは課題であろう。中国では、中学校から学校の寮に住む生徒が多く、夏休みや冬休み以外には週に一回、または月に一回家に帰るのが一般的である。本調査では、下宿・寮などで家族と離れて生活していると回答した娘は30.9%であった。このことが、多くの母親が娘の発達状況を把握することができない原因の一つだと考えられる。また、月経や乳房の変化およびブラジャーについて娘との相談頻度(項目11)を聞く問いでは、「あまりない」、「ない」と回答した母親は36.8%であり、3人のうち1人の母親は娘とあまり話し合っていない、あるいは話したことの無い現状がみられ、多くの母親は月経や乳房の変化およびブラジャーについて、娘とのコミュニケーションが不足していると思われる。ブラジャーについて娘に教えたか(項目14)との問いにおいて、多くの母親が娘に教えたのは「衛生的に毎日替える」(74.3%)と「ブラジャーの洗濯方法とブラジャーの干し方」(63.2%)であった。しかし、「ブラジャーの取り扱い表示の見方」について娘に教えた母親は17.1%に止まった。中国の母親はブラジャーを衛生的に着替え、手入れすることを大事にしている一方、ブラジャーの役割や着ける意義、またどのように適切なブラジャーを見分け、選ぶかについてあまり重視していない実態がみられた。さらに、成長期向けのブラジャーに関する知識や情報(項目15)について不安を感じている母親は66.5%であった。ブラジャー装着に関する教育に重要な役割を担っている母親の知識が欠如している実態がみられた。

3) 関心・意欲

①娘

ブラジャー装着に関する関心・意欲を問う項目として設定した項目12, 13について、Table4に示したように肯定的な回答をした娘はいずれも半数を超え、乳房の変化とブラジャーについての学習意欲を示した娘は84.2%であった。学校で教えてほしい理由について、「より科学的、正しい知識を学べる」、「周りの人と保護者があまりわからないので、専門家により科学的な知識を普及してほしい」、「ネットを調べても、情報が少ない」などの自由記述が挙げられた。多くの娘は乳房の発達やブラジャー装着について関心をもっているうえ、ブラジャー装着に関する家庭や社会教育の乏しさを感じ、学校教育において系統的で科学的な学習を望んでいることが明らかになった。

②母親

項目12, 13において、肯定的な回答をした母親はい

Table4 関心・意欲における母娘の項目回答率

	項目内容	選択肢	回答率(%)	
			娘	母親
関心・意欲	12.乳房の変化とブラジャーの学習意欲	(1) とても知りたい	84.2	90.8
		(2) 知りたい	15.8	9.2
関心・意欲	13.ブラジャーについて学校で教えること	(1) とても教えてほしい	67.8	92.8
		(2) 教えてほしい		
		(3) あまり教えてほしくない	32.2	7.2
		(4) 教えてほしくない		

#項目内容は略されたもので、詳しくはTable1の調査内容を参照

ずれも90%を超えた。即ち、ほとんどの母親は乳房の変化とブラジャーについて学ぶ意義を認め、学ぶ必要性を感じていることが示された。また、多くの母親ブラジャー装着に関する正しい知識や情報の欠如による指導の課題を感じていることから、娘本人より、母親の方が娘に学校でそれらについて学ばせたいと考えていることが明らかになった。

(3) ブラジャー装着に関わる母娘間の意識の関係性

1) ブラジャー装着に関わる母娘の意識の関係性

ブラジャー装着に関わる母娘の意識の関係性を確認するにあたっては、母娘の質問内容が同一である1～13項目を用いて分析を行った。まず、1～13項目の得点平均値で項目別の相関係数を算出し (Table5)、有意な相関がみられた項目の相関係数を太字で表示した。Table5に示したように、計169箇所のうち61箇所

を超えた (36.1%)。ブラジャー装着に関わる母娘の意識には関係性があると考えられ、ブラジャー装着に関わる母親の意識は娘に影響を与えていることが示唆された。続いて、ブラジャー装着に関わる娘の意識は母親のブラジャーに関する知識・理解、実態・行動、関心・意欲のどの観点に影響を受けているか、どの観点からの影響が大きいかを重回帰分析で明らかにした。娘の3観点の得点平均値の合計点数を従属変数に、母親の観点別の得点平均値を独立変数として重回帰係数を求め、Table6に示した。その結果、重相関係数 (R) は統計的に有意であった ($R=0.525, F<0.01$)。また、標準回帰係数から、独立変数の3観点ともに相互作用が有意であり (p 値<0.05)、母親の知識・理解、実態・行動、関心・意欲はいずれも娘の意識の影響要因であることが確認された。その中でも、実態・行動の標準回帰係数が最も大きく ($r=0.710$)、次いで知識・理解

Table5 母娘の項目間の相関係数

娘 母親		知識・理解						実態・行動				関心・意欲		
		1.乳房発達step1	2.乳房発達step2	3.乳房発達step3	4.下着が健康に影響あり	5.成長期向けのブラジャー	6.ブラジャーのサイズ表示	7.自分の乳房の膨らみ始めた時期	8.自分のブラジャーのサイズ	9.ブラジャー購入時の試着や採寸状況	10.ブラジャーの正しい洗濯方法や干し方	11.月経、乳房の変化やブラジャーについての相談頻度	12.乳房の変化とブラジャーの学習意欲	13.ブラジャーについて学校で教えること
知識・理解	1.乳房発達step1	.482**	.474**	.418**	.175*	.173*	.225**	.209**	.084	.186*	.171*	.169*	.060	.056
	2.乳房発達step2	.451**	.494**	.447**	.155	.181*	.235**	.225**	.083	.138	.168*	.242**	.102	.072
	3.乳房発達step3	.382**	.441**	.397**	.125	.149	.226**	.209**	.076	.154	.119	.260**	.084	.094
実態・行動	4.下着が娘の健康に影響あり	-.003	-.009	-.025	.306**	.105	-.004	.040	-.069	.131	.067	-.001	.138	-.004
	5.成長期向けのブラジャー	.181*	.223**	.198*	.040	.362**	.194*	.194*	.230**	.124	.200*	.048	-.097	-.124
	6.ブラジャーのサイズ表示	-.023	.053	.064	.066	.093	.043	.108	.154	.163*	.085	.123	.144	.121
関心・意欲	7.娘の乳房の膨らみ始めた時期	.206*	.232**	.238**	.096	.107	.042	.244**	.060	.186*	.121	.187*	.167*	.133
	8.自分のブラジャーのサイズ	.082	.095	.105	.063	.084	.290**	.065	.400**	.256**	.170*	.060	.008	.043
	9.ブラジャー購入時の試着や採寸状況	.110	.183*	.116	.123	.134	.145	.230**	.163*	.439**	.155	.109	.096	.082
知識・理解	10.ブラジャーの正しい洗濯方法や干し方	.086	.160*	.201*	.079	.190*	.198*	.149	.231**	.199*	.427**	.123	.064	.069
	11.月経や乳房の変化及びブラジャーについての相談頻度	.054	.097	.075	.049	.102	0.0587	.087	-.036	.041	.104	.440**	.170*	.067
	12.乳房の変化とブラジャーの学習意欲	.135	.081	.071	.066	.031	.044	0.086	0.062	-.017	.013	.145	.143	.108
関心・意欲	13.ブラジャーについて学校で娘に教えること	.097	-.002	.041	.138	-.110	.036	.142	.053	.121	-.057	.222**	.296**	.404**

#項目内容は略されたもので、詳しくはTable1の調査内容を参照

知識・理解 実態・行動 関心・意欲 *: $p < 0.05$, **: $p < 0.01$

Table6 ブラジャー装着に関する娘の意識と母親の3観点の重回帰関係

重相関R	重決定 R2	調整済みR2	標準誤差	有意F
.525 ^a	.276	.261	3.718	.000 ^b
モデル	係数	標準誤差	t	p 値
切片	6.343	1.361	4.660	.000
母親-知識・理解	.530	.127	4.170	.000
母親-実態・行動	.710	.217	3.267	.001
母親-関心・意欲	.377	.165	2.287	.024

a. 従属変数:娘3観点の得点平均値の合計

b. 予測値: 母親の関心・意欲, 母親の知識・理解, 母親実態・行動の得点平均値

($r=0.530$), 関心・意欲 ($r=0.377$) の順であった。以上のことから, ブラジャー装着に関する母親の知識・理解, 実態・行動および関心・意欲のいずれも娘に影響を与えており, その中でも, 母親のブラジャー装着に関する日常的行動が最も強い影響を及ぼしていることが確認できた。

2) ブラジャー装着に関する家庭教育の課題

前項までの分析の結果, 中国の母親は娘のブラジャー装着について娘に多面的に影響を与えていることが明らかとなった。そこで, ブラジャー装着に関する家庭教育の課題やその改善への示唆を得るため, 母親たちの, 娘へのブラジャー装着に関する教育の特徴を明らかにすることを試みた。

観点別の得点平均値を合計し, それぞれの中央値(母親 $y = 18.68$, 娘 $x = 15.335$) によってグループを高群と低群に分けた。母親と娘の合計得点分布を散布図として Fig.1 に示す。母と娘それぞれについて中央値より高い群を高群, 中央より低い群は低群とし, A 「母高-娘高群」, B 「母高-娘低群」, C 「母低-娘低群」, D 「母低-娘高群」の4つのグループを設定した。

それぞれに含まれた母娘数は, 順に49組, 27組, 49組, 27組であった。本項では, 「実態・行動」のうち「教育・学習に関する状況」に関わる項目である, 項目11, 14, 15を分析対象とした。各項目の回答に群間の差があるかどうかを確認するため, Kruskal-Wallis 検定を行い, その結果を Table7 に示した。

Table7 に示したように, 3つの項目のうち, 月経や乳房の変化およびブラジャーについての相談頻度を問うた項目11のみ3観点の合計得点の高低による四

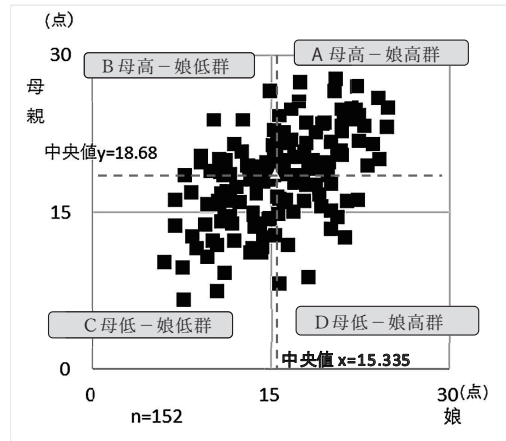


Fig.1 母親の3観点の得点平均値の合計点数分布

つの群間に有意な差がみられた ($p < 0.001$)。項目11における各群の特徴をみると (Fig.2), 母親の3観点の合計得点が高いA群とB群では, 娘と月経や乳房の変化およびブラジャーについて話をすることが「よくある」, 「ある」のと回答した母親が7割を超えたのに対し, 得点の低いC群とD群では4割に止まった。即ち, ブラジャー装着に関する意識の高い母親は, 娘とブラジャー装着に関するコミュニケーションをより多くとっていたといえる。しかしB群(母高-娘低)では, 母親が月経や乳房の変化およびブラジャーについて娘とコミュニケーションを交わしている一方で, 娘の得点は低かった。これは, B群の母親たちの指導内容や指導方法が妥当でないからではないかと考えられる。

Table7 グループの項目回答における群間差の検定

	11 (母親) 月経や乳房の変化及びブラジャーについての相談頻度	14. (母親) ブラジャーについて娘さんに教えたこと	15. (母親) 自分もっている知識, 情報について
Kruskal-Wallis検定の有意確率	.000	.766	.546

項目内容は略されたもので, 詳しくはTable1の調査内容を参照

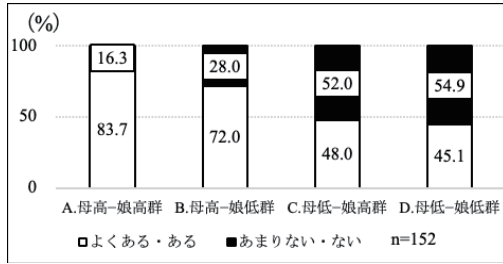


Fig.2 母親の項目7のグループ別の回答率

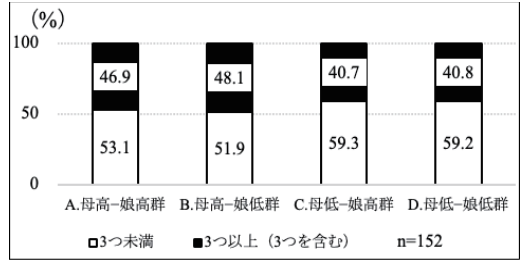


Fig.3 母親の項目14のグループ別の回答率

ブラジャーについて娘に教えるべき6つの事項(項目14)について、母親が娘に教えたと回答した数を「3未満」と「3以上」に分けて集計したところ、それぞれ55.9%と44.1%であった。即ち、1つか2つか娘に教えていない母親が半数を超えていた。これは、四つの群間に有意な差がみられなかった検定結果と一致し(Fig.3)、どのグループでも過半数の母親はブラジャー装着について娘にあまり教えていなかった。母親のブラジャー装着に関わる意識の高低に関わらず、母親はブラジャーについて意識的に娘に教えることが少ない実態が明らかとなり、全体的にブラジャー装着に関する教育意識が低いと推察できる。Fig.3に示したように、B群とD群では、一部の母親はブラジャーについて娘に多く教えたにしても、娘の得点が低かった。母親が教えたとしても、娘の意識が上がらない実態もみられ、娘への教育効果にはバラつきが大きいという課題がみられた。

また、項目15について、前述のように成長期向けのブラジャーに関する知識や情報について不安を感じている母親が66.5%であった(Table3)。さらに項目15に関して群間差が認められなかったことから、母親のブラジャー装着に関わる意識の高低に関わらず、母親が正しい知識や情報をもっていないことが、教育の質の低さや、教育的効果を得られない原因の一つだと推測できた。母親が月経や乳房の変化およびブラジャーについてコミュニケーションをとることが、娘のブラジャーに関する教育に重要な役割を果たしていることが明らかになった。一方、母親の教育意識が低く、自身の知識の欠如、また指導内容や指導方法に妥当性がないことが課題だと考えた。母親のブラジャーについてのコミュニケーションの機会や場を設けることと、母親の教育意識を高めるための母親向けの教育方法や情報の提供が必要とされている。

4. まとめ

母娘のブラジャー装着に関わる意識について、乳房の発達に関して、母娘とも乳房発達のプロセスやブラジャーについての基本的な理解が不足していた。多くの娘は無意識のまま乳房が膨らみ始める時期を迎え、母親も娘の乳房の発達状況を把握しておらず、この時期を過ごしていた実態がみられた。ブラジャー装着に関して、ほとんどの母娘は正しく下着を着けることが健康に影響することを認識していたが、自分のブラジャーのサイズさえ知らない割合は母娘がいずれも70%以上であった。多くの娘はブラジャーの役割に対する理解が不足しており、購入時の試着や採寸状況、またその手入れ状況も望ましくない一方、乳房発達やブラジャー装着についての母娘のコミュニケーションが少ない実態が明らかになった。教育・学習に関して、娘のうちの三分の一以上が学校での身体の変化についての学習が不足していると認識していた。また、多くの母親は、自分も持っているブラジャー装着に関する知識や情報に不安を感じており、ブラジャー装着について意識的に娘に教えた内容が少なかった。乳房の変化やブラジャー装着に関する知識の欠如によって、80%以上の母娘がその知識を学ぶ必要性を認め、学校教育において系統的で科学的な学習を望んでいた。以上より、中国の母娘ともブラジャーの装着に関わる意識は高くはない実態が明らかになった。

また、中国におけるブラジャー装着に関わる母娘の意識の関係性について、知識・理解、実態・行動、関心・意欲の3観点とも相関関係がみられ、中国の母親は思春期にある娘の第二性徴に関わる下着教育において、重要な役割を果たしていると考えられる。一方、母親自身の知識や情報の欠如、指導方法が適切ではないこと、娘とのコミュニケーション不足によって、その教育効果が得られないことが課題として挙げられた。母娘双方のブラジャー装着に関わる意識を高めるには、母親へ正しい知識や情報を提供し、母親のブラ

ジャー装着に関わる意識を高めるとともに、適切な指導方法を伝え、ブラジャー装着に関する家庭の教育力を高めることが急務だと考える。

田井¹⁷⁾は、家庭教育は学校教育と地域のもつ教育力を基盤に、本来の教育力を取り戻さなければならぬことを指摘した。家庭の教育力の低下、また学校教育における諸問題を改善する手立てとして、家庭、学校と社会教育の連携・協働の意義が多くの研究で論証され^{18) 19)}、さらに中国では「家校社協育人」が国の教育方針として挙げられている²⁰⁾。ブラジャー装着に関する母親の意識やその家庭の教育力を高めるには、学校教育における専門知識の系統的学習の支援が望まれ、また、下着を含むほとんどの衣服が産業体系の中で生産される現代社会では、下着メーカーや専門家による情報提供も求められる。

【引用文献】

- 1) 羅文, 陳燕容, 段若男, 成果. 女孩青春期启动及发育趋势分析. 衛生研究. 2015, Vol.44, No.6, 1013-1046.
- 2) 山田智子, 安田晴美, 伊藤紀子. 家庭科「衣生活」領域の指導内容に関する基礎的研究-若年層における下着の着用形態について-. 鳥取大学教育学部研究報告, 教育科学. 1995, Vol.37, No.1, 79-88.
- 3) 佐野史子, 鈴木あゆ子, 山平トモ. 小学校女児のブラジャー装着に関する一考察. 千葉大学教育学部研究紀要Ⅲ, 自然科学編. 1997, No.44, 165-175.
- 4) 福本富美子. 下着装着傾向と学校における下着教育. 日本衣服学会誌. 1998, Vol.41, No.2, 1-5.
- 5) 庄莉莉, 村上かおり, 鈴木明子. ブラジャー装着に関わる意識および行動の母娘の関係性. 日本家政学会誌. 2020, Vol.71, No.4, 231-239.
- 6) McGhee, Deirdre E.; Steele, Julie R.; Munro, Bridget J.. Education improves bra knowledge and fit, and level of breast support in adolescent female athletes: a cluster-randomised trial. *Journal of Physiotherapy*. 2010, Vol.56, No.1, 19-24.
- 7) Omrani Atefeh, Wakefield Scurr Joanna, Smith Jenny, Brown Nicola. The Development and Psychometric Properties of A Survey to Assess Breast Knowledge and Attitudes of Adolescent Girls. *American Journal of Health Education*. 2019, Vol.50, No.6, 374-389.
- 8) 中華人民共和国教育部. “中小学健康教育指導綱要”. 中華人民共和國中央人民政府. 2008-12-01. http://www.moe.gov.cn/srcsite/A17/moe_943/moe_946/200812/t20081201_80266.html (参照2023-2-06)
- 9) 馮秀娟, 趙慧貞. 对中小學生青春期性教育的認識与思考. 深圳中医結合雜誌. 2016, Vol.26, No.11, 195-196.
- 10) 黄光梅, 陳秀娟, 張雪麗. 女性中学新生青春保健知識教育效果調查. 中国婦幼保健. 2016, Vol.31, No.16, 3362-3363.
- 11) 梁偉紅, 方方, 趙想瑞. 西南地区女大学生文胸認知及其致因分析. 紡績学報. 2013, Vol.34, No.4, 117-121.
- 12) 工藤美子, 山本あい子, 田村康子. 例にみる思春期の娘と更年期のその母親の健康. 日本母性看護学会誌. 2002, Vol.2, No.2, 49-54.
- 13) 劉録護. 城市女性的打扮意識: 主題、内容与母女關係 - 以广州的个案研究為例. 婦女研究論叢. 2013, Vol.116, No.2, 33-44.
- 14) 周楠, 林其羿. 我国大学生生殖健康教育需求的现状与启示. 中国性科学. 2019, Vol.28, No.3, 143-145.
- 15) 政務公開. 福建省統計年監2010-2022. 泉州市統計局. 2022-9-28. <https://tjj.fujian.gov.cn/xxgk/njgb/tjnj/> (参照2023-2-06)
- 16) 國務院第七次人口普查領導辦公室. 中国人口普調查年監-2020上冊. 国家統計出版社, 2022.
- 17) 田井康雄, 谷村千絵, 藤川信夫ら. 『人間と教育を考える』. 学術図書出版社. 2003, p.12.
- 18) 高艳紅, 楊松柠, 孫忠. 家校合作价值探究 [J]. 大庆社会科学. 2016, (03), 119-121.
- 19) 楊雄, 刘程. 关于学校、家庭、社会“三位一体”教育合作的思考 [J]. 会科学. 2013, (01), 93.
- 20) 中華人民共和国教育部. 教育部等十三部门关于健全学校家庭社会协同育人机制的意见, 中華人民共和國中央人民政府. 2023-1-13. http://www.moe.gov.cn/srcsite/A06/s3325/202301/t20230119_1039746.html (参照2023-7-7).